

医学研究センター

研究主任部門

池淵 研二

(部門長)

1. 人事

副部門長として総合医療センターの田丸淳一先生に加わっていただき、部門会議でいろいろなアイデアを出していただけたこととなった。

部門員として町田早苗氏に加わっていただき、学内グラント成果発表会の運営、会場準備、開催通知、開催掲示、抄録集編集などいっさいを担当していただくよう体制整備を行った。

2. 企画

(1) 学内グラント受賞者成果発表会

平成23年度も7月と2月に定例開催することができた。7月の発表会では5人の受賞者から成果発表が行われ、大学院生21人を含め41人の参加があった。毛呂と日高と川越キャンパスを連携した形で発表および質疑応答ができる体制整備もできた。また成果発表会に参加することを大学院博士課程の履修単位として認定いただけたお蔭で、大学院生の参加数が目立って多くなってきており、今後の参加者数増加も期待される(表参照)。

今後の課題として医学部・医療学部の学生、および大学院修士課程の学生の参加があるような会にしていき、若い頃から埼玉医大の中で実践されている研究活動に触れる機会を提供できるように整備していくことを考えていきたい。

表

	開催日	参加者数	(内) 大学院生数
第1回学内グラント成果発表会	平成22年7月23日	58人	8人
第2回学内グラント成果発表会	平成23年2月25日	41人	1人
第3回学内グラント成果発表会	平成23年7月22日	61人	21人

(2) 研究室紹介ホームページの立ち上げ準備

学内研究者の活動を相互に知り合える機会を設けることを目的に、ホームページ上に研究室紹介コーナーを設置することを準備してきた。最終的には2通りの方法でホームページ(HP)上に掲載する予定とした。

1) 各基本学科の研究室紹介として基本学科名から各研究室で作成した研究室紹介にリンクさせる。

2) TOPICSとして投稿のあった研究室を紹介する。

運用にあたって以下の4点を確認した。

①なお当面公開は学内HPのみにすることとし、学外HP公開についてはHP実務委員会の許可が必要になるので様子をみて公開を考えることにした。

②リンクをはる分については、内容は各研究室の責任に任せることとする。

③トピックスとして紹介する分については、内容は主任部門会議で担当者(輪番制か固定制)を決めて内容に逸脱している箇所がないかどうかを、アップする前に査読する。紹介していただきたい項目としては、現在埼玉医科大学雑誌に研究室紹介の形で投稿していただいている際の編集部からの依頼項目と同じ項目でお願いする。

④トピックスとして、さらにニュース性を大切にしたい、研究室で新たな発見があった内容を、クローズアップして紹介していただくスタイルでも採用していきたい。